

おいしいね!

発行責任者 生活協同組合アイチョイス岐阜
理事長 子安 貞継
☎058-215-5566



2026. 1月
薄紅梅号

中国から輸入された梅は平安時代に入り身近なものになったそうです。濃い紅花染（べにばなぞめ）は高価でしたが、薄紅梅は庶民にも親しまれました。梅の淡い花卉のような優しい色が春の訪れを予感させてくれる、新年にふさわしい色です。

特集

第一回

総代交流会

アイチョイス岐阜 第一回 総代交流会

岐阜駅
ハートフルスクエアG
2025年 11月26日(水)

今回、初めての総代交流会を開催しました。

理事長のあいさつから始まり、2025年度上半期の事業報告・仲間づくり(加入・脱退)の状況や供給高、見守り協定の締結や平和活動・清掃活動などの地域での貢献活動について、下半期に向けてどう動いているかなど、専務からお話がありました。また、組合員理事活動の報告として、組合員さんとウインナーづくりの会、はなシルフレンズでの試食や交流のこと、メーカーさんのお話を聞きながら試食をした9月のあいたくなる生協交流会、これからの活動についてなどの様々な報告が新川理事よりありました。

前半の少しカッチとしたお話から一転、後半は楽しい雰囲気へ。総代さんは6つのグループに分かれて座り、各グループに一人(または二人)理事・監事が入ります。テーブルごとに自己紹介と試食、そしてクイズコーナーです。

今回の試食は、アイチョイスで取り扱っているおすすめのもので、組合員理事や広報マネージャースタッフからそれぞれ、紹介をさせていただきました。自然派スタイルのミルクパン、オーガニックライ麦レーズン(パン)、黒糖パン、チョコスティックパン、スライスハム、ベジコンソメスープ、かにかま、そして地元のメーカー・生産者さんのひるがの珈琲牛乳、えーね牛乳、美濃酪ヨーグルト、ウインナー、はなシルフレンズでもご紹介した黒豆クリームチーズ…とここに書いてだけでも盛りだくさんの内容です。今までに購入したことのないものの味見や、発売されたばかりのベジコンソメスープのお試し、お正月に余りがちな黒豆とクリームチーズがとても合うこと、それをパンに乗せて食べるとさらにおいしいなど、試食品から新しい発見があったのではないかと思います。今後の商品選びの参考になりますね!



私も途中で、一つのテーブルに混ぜてもらい、よく注文している商品と好きなところをお話させていただきました。みなさん、それぞれお気に入りの商品が違ったり、ネット注文の仕方に詳しい方がいたりそれぞれが持っている情報は

様々なので、こうやって交流する機会があると情報が交換できていいですね。

各テーブルでは総代のみなさん、それぞれのおすすめの商品や試食品の味についてなど、お話は尽きないようで、はなシルフレンズが同時に6グループで行われているような、にぎやかでした!

■2025年度上半期事業報告(4月1日～9月30日)

	計画	実績	計画比/前年比	
組合員数	22,610名	22,397名	計画比99.1% 前年比109.4%	2025年9月30日時点の組合員数
供給高	13億5,180万円	13億2,736万円	計画比98.2% 前年比108.3%	2025年4月1日～2025年9月30日の期間に組合員が商品を購入した金額
事業総剰余金	3億3,220万円	3億2,648万円	計画比98.3% 前年比109.0%	供給高に利用手数料と共済手数料を加え商品仕入額を引いた金額
事業経費	3億4,366万円	3億3,486万円	計画比97.4% 前年比108.3%	事業運営にかかる金額
事業剰余金	▲1,143万円	▲838万円	計画比73.3% 前年比84.7%	事業総剰余金から事業経費を差し引いた金額
経常剰余金	264万円	861万円	計画比326.1% 前年比528.2%	事業剰余金に事業外の収入と費用を加えた金額



クイズコーナーは、伊藤理事が進行を担当しました。クイズは全部で5問。景品は、関市のトーエー食品のノンカップ麺です。正解した回答数分の袋麺がもらえます。クイズはアイチョイスが好きな方ほど答えやすい内容になっていましたが、簡単そうで、ちょっと難しい。みなさん真剣な表情で、スライドを見つめて、答えが出るたび大盛り上がり。私も後方でスライドを一緒に見ていましたが、絶対これ!と自信を持って、回答を選ばせませんでした。まだまだ、ですね～。

袋麺はお帰りの際に、みなさんそれぞれ正解の数だけお持ち帰りいただきましたが、味も数種類ご用意していたので、どれにしようと楽しそうに選んでいらっしゃいました。5問正解の方も何人かいらっしゃいましたよ!すばらしいです。

また、クイズの景品以外にも、参加された総代のみなさんにはお持ち帰り商品もお渡ししました。内容は、自然派スタイルのバターチキンカレー、粗製糖、国産有機5割そば、だし、チキンコンソメとどれももらってうれしいものばかり。お帰りの際に、楽しかったですと言われる方もたくさんいらっしゃいました。お見送りして、嬉しかったです。

今回初開催でしたが、今後もこのようなアイチョイスについて深く知ることができたり、商品を試せたり、総代さんや理事と交流できるような機会を増やしていきたいと思っています。

[理事N.K]



□当日参加の総代さんと理事・監事・スタッフ

私のテーブルでは男性2名、赤ちゃんを抱いたベテランお母さん、食べ盛り的高校生男子がいるお母さんと、性別も環境も違う皆さんと楽しく意見交流ができました。個人的には男性が家族の食について関心があることをうらやましく思いました。その中で「野菜の皮は剥きますか?」との質問。全員「安全な野菜だから皮は剥かない!」皆さんのこだわる健康的な食生活が垣間見れました。試食では、初めて食べる商品もあり、PBブランドを知ってもらうよいきっかけとなりました。

[理事J.H]

みんなの感想



おすすめ商品の話をしながら自己紹介をすると、みなさんすぐに打ち解けていました。そしておすすめが沢山ありアイチョイス愛を感じました。お野菜や調味料はもちろんだけれど、加工食品や冷凍食品が安心なのが有難いという話で盛り上がりしました。試食や食べ比べも初めての物を味わうことができて好評でした。お野菜の食べ比べもしたい、など直接お話をして意見を聞くことができていい交流ができました。生協は組合員みんなで作る組織なので交流してよりよい生協になったらいいなと思いました。

[理事Y.N]

2025年度第2回はなシルフレンズ

11月10日(月)
岐阜市ぎふメディアコスモス

11月11日(火)
郡上市総合文化センター

11月12日(水)
瑞浪市市民福祉センター

11月13日(木)
瑞穂市本田コミュニティセンター



2025年度第2回はなシルフレンズを11月各4会場で行いました。

私はぎふメディアコスモスに参加しました。試食品は青木果樹園の王林・北斗・ぐんま名月・陽光と津軽産直組合のトキというりんご5種類を食べ比べしました。ネオニコフリーなので皮ごと食べられてとても美味しかったです。スターカットという芯まで食べられるエコな切り方でとても好評でした。

今回のテーマは「年末に作る簡単料理」おせちは煮なますや酢蓮根を作る方もみえましたが、アイチョイスで購入される方も思っていた以上に多くみえました。

持ち帰りの試食品はよつ葉のクリームチーズでした。色々な種類のクリームチーズがありますが、よつ葉のクリームチーズは柔らかくて口どけが良くお気に入り商品のひとつです。乳化剤不使用なのも嬉しいです。

このクリームチーズを使ったレシピが自然派styleの黒豆1袋に対してよつ葉のクリームチーズ1個を混ぜるだけで簡単に美味しい1品ができる話をして盛り上がりました。パンやクラッカーにつけても美味しいので皆さんも良かったらぜひお試し下さい！[理事H.Y]



□岐阜会場の様子



□瑞穂会場の様子

私は瑞浪会場に参加して、りんごの試食会、クリスマス、お正月のメニュー、アイチョイスについて交流しました。特にアイチョイスの方針や取り組みに関して、高い関心を持ってみえる様子を感じました。

「ネオニコチネイド系農薬の危険性を知る事ができた。」「減農薬や化肥不使用の農産物を購入でき、ありがたい」「有機の製品、ほぼ全て国産原材料使用。添加物無しで子どもに安心して与えられる。」「安心、安全で人や環境にやさしいのが何より」など、意見が出ました。

りんごは「皮ごと食べられる」「切り口が変色しない」「みずみずしくて、味が濃い」と誰もが感心されました。また、「モニター商品」や「クリスマス・お正月おススメ商品」のおススメポイントや美味しさの秘密など納得していただけた様でした。[理事K.Y]

高齢者の見守り協定【かがみがはら安心ねっとわーく事業】を結ぶために各務原市役所に行って来ました。既にアイチョイス岐阜としては瑞穂市や岐阜市とも同様の協定が結ばれているので、三番目の自治体となります。

今年の夏はとても暑く、配達ドライバーさんが道路にうずくまっている方にお声をかけて連絡されたこともありました。いつどんなことが起きるとも限らないなかで、異変に気付いた時に素早く連絡してもらえることで助かる命もあります。近隣との関係が希薄になってきている昨今、こうした協定はとても大切だと思います。[理事H.I]



連合産直委員会 熊本産地訪問

11月16日(日)～17日(月)
熊本県

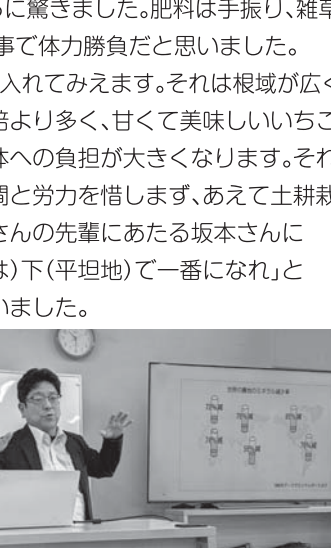
この時期にいつも欠かさず注文している、みかん生産者のさかもとふる一つさんを訪問でき感無量でした。標高200m以上の山の斜面が石垣を積み上げた段々畑になっていて、広く整地されていることに驚きました。しかもその石垣が100年前の先人たちの時代から作られていた、ということにさらに驚きました。肥料は手振り、雑草は手作業で除草、害虫は1匹ずつ駆除、本当に根気仕事で体力勝負だと思いました。

だいほ果実さんでは、いちご栽培に土耕栽培を取り入れてみえます。それは根域が広くなることで土壌の養分を多く吸収し、収量も高設栽培より多く、甘くて美味しいいちごができるそうですが、しゃがんでの作業になるため体への負担が大きくなります。それでも購入者に美味しいいちごを届けたい思いで、手間と労力を惜しまず、あえて土耕栽培にこだわってみえるのがよくわかりました。大保さんの先輩にあたる坂本さんに「(自分が)上(山の上)で一番になるから、(大保さんは)下(平地)で一番になれ」と言われ、切磋琢磨している関係性が素晴らしいと思いました。

熊本有機の会の生産者、田中さんのお話で、特に印象深かったのは「人間はウイルスと微生物と共存している」とおっしゃっていたことでした。根菜類にはリポポリサッカライド(LPS)というグラム陰性菌が付いているそうで、これがマクロファージを活性化するため免疫が上がるのだそうです。有機野菜を食べることの有効性と殺菌により有益な菌が減少してしまうマイナス面が数値で出されていました。これは有機野菜の良さを伝えるのに使えると思い、早速自分でも調べて、まずは家族に説明してみようと思いました。



生協として有機農業の生産者さんを安定して買い支えていくために、まずは組合員さんの中で情報を共有することだと思いますが、私個人としてはアイチョイスを知らない周りの方には有機野菜の魅力(安全性、安心感、環境への配慮、美味しさ等)を伝えたいと思います。スーパーでも慣行野菜の値段が高騰してきているので、生協の有機野菜がお高めという印象が少し変わってきて薦めやすいのではと思います。化学物質を取り込んで体を悪くし医療費を払うより、安心安全な野菜を購入して、体調を整え、自己免疫を上げ、健康的に過ごす、こういった考えは全ての年代の方々に響くと思います。伝え方を工夫して地道に広げていきたいです。[監事I.O]



2026年 年頭のご挨拶

新しい年を迎え、組合員の皆さまにご挨拶申し上げます。
二〇二六年は、国内では人口減少や物価高騰など生活基盤を揺るがす課題が続く一方、地域のつながりや助け合いの重要性が益々高まっています。世界に目を向ければ、気候変動や国際的な緊張が人々の暮らしに影響を及ぼす中、持続可能で平和な社会を築く努力が求められています。こうした時代だからこそ、生協は「安心して暮らせる地域社会」を実現するため、食の安全や環境への配慮に、より一層留意をして取り組んでいかなければと感じています。
今年の組合員の皆さまとの交流の中で感じた「生協への期待」、そしていただいた「数々の温かいメッセージ」を胸に抱き役職員一同取り組んでまいります。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。
そして二〇二六年が皆さまにとって希望に満ちた一年となりますよう、皆さまとご家族のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

生活協同組合アイチョイス岐阜 理事長 子安貞継



2025年度 第6回理事会

2025/11/27 生協富加センター会議室 他
出席:理事11名(11名中)監事4名(4名中)

【協議決定事項】
2025年度上期監査報告について
「表示して！ゲノム編集食品～」市民集会への賛同について
2025年10月31日現在の2項組合員数について

【報告事項】 月次決算報告について

供給高	10月	236,457千円	予算比 (98.2%)
			前期比 (108.4%)
	10月までの累計	1,563,820千円	予算比 (98.2%)
			前期比 (108.4%)
経常剰余金	10月	2,605千円	10月までの累計 11,253千円

仲間づくり(組合員拡大)			
加入件数	10月	10月末の組合員数 22,657人	
	385件(計画415件)	前期比 (107.0%)	

※地域見守り協定締結についての詳しい説明は前回の(おいしいね12月号)に掲載しております。

地域見守り協定 締結

かがみがはら安心ねっとわーく事業 締結式

11月21日(金)
各務原市役所